健康経営の目的

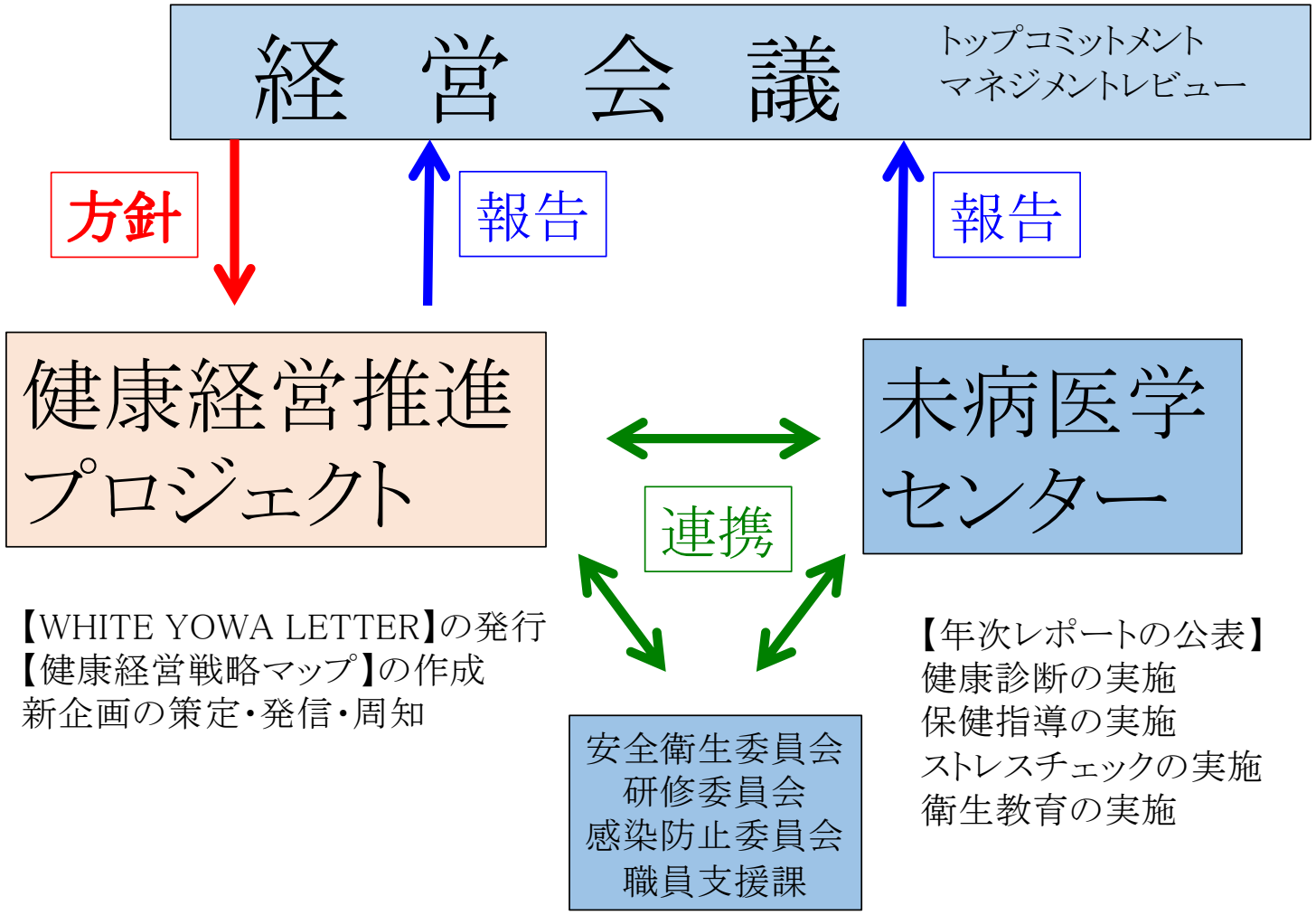
洋和会グループ　ホスフィー（HOSPHY)理念

"HOSPITALITY"は手厚いもてなし。"PHILOSOPHY"は哲学。
"PHILO-"は愛。"-SOPHY"は人の叡智。
併せて人を愛し、人の叡智を愛する学問の意味を持つ。
洋和会グループは博愛を旨とし、手厚いもてなしの出来る哲学を持った地域医療・福祉を追究している集団である。

洋和会グループ 健康宣言
医療・保健・福祉の事業に携わる者は、自らが健康でなければその使命を果たすことができません。洋和会グループは職員の健康の保持増進と快適職場づくりに日々努力することを宣言します。

健康経営推進プロジェクト（目的）
「職員の健康を大切に考えたい」というトップの考えのもとプロジェクトを発足致しました。職場環境改善や働き方改革など 職員の健康保持・増進を図るための提案や情報を「WHITE YOWA LETTER」及び「年次レポート」として HP上で公開ていきます。

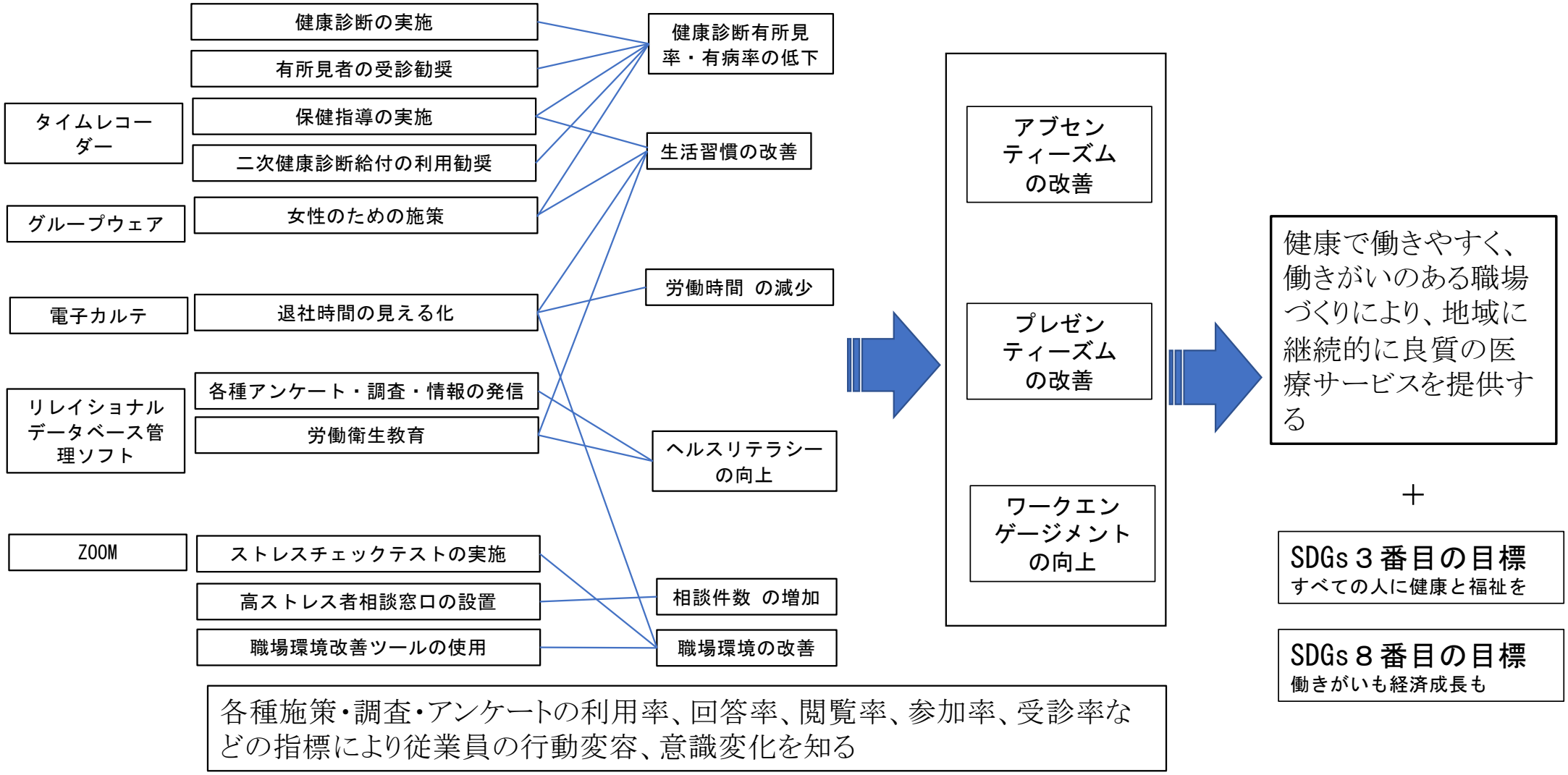
健康経営推進体制


経　営　会　議
トップコミットメント
マネジメントレビュー
方針
報告
報告
健康経営推進
プロジェクト
未病医学
センター
連携
【WHITE YOWA LETTER】の発行
【健康経営戦略マップ】の作成
新企画の策定・発信・周知
【年次レポートの公表】
健康診断の実施
保健指導の実施
ストレスチェックの実施
衛生教育の実施
安全衛生委員会
研修委員会
感染防止委員会
職員支援課

健康経営プロジェクトスタッフと役割の概要

プロジェクトスタッフ		担当
産業医	労働衛生コンサルタント(保健) 人間ドック健診情報管理士	健康管理に係るアドバイス
産業医	精神科専門医	メンタルヘルスケア・禁煙・飲酒
産業医	精神科専門医	
他産業医3名		健康管理に係るアドバイス
保健師		
看護師		
看護師	感染管理看護師(ICN)	感染症対策相談窓口
管理栄養士	健康経営アドバイザー(東京商工会議所) 人間ドック健診情報管理士	保健指導・食事療法
管理栄養士		
理学療法士		Sport in Life・運動療法・腰痛予防対策
精神保健福祉士		メンタルヘルスケア・禁煙・飲酒
薬剤師		職員及びご家族のジェネリック薬品への理解向上
診療情報管理士		
介護福祉士		介護における腰痛予防対策
事務		協会けんぽ対応・統計

健康経営戦略マップ2022



2021年度健康診断、ストレスチェックの結果を踏まえて

2021年度（2022年1月～3月実施）定期健康診断及びストレスチェックテスト、生活習慣及び自覚症調査の結果等について

定期健康診断有所見者率（要経過観察以上）

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	☆全国平均
★全項目	47.5%	50.9%	54.4%	53.9%	52.3%	58.7%
血圧	9.2%	11.5%	10.7%	16.2%	14.7%	17.8%
貧血	12.5%	17.7%	15.9%	11.8%	12.2%	8.0%
肝機能	12.0%	12.5%	12.2%	12.3%	11.3%	16.6%
血中脂質	18.5%	19.2%	24.4%	25.2%	26.1%	33.0%
血糖	8.7%	12.5%	14.5%	11.8%	10.1%	12.5%
心電図	9.0%	2.8%	3.2%	4.4%	3.3%	10.5%

★視力検査は除く　　☆「労働衛生のしおり」（令和4年度版）より

生活習慣（タバコ・お酒等）・自覚症状

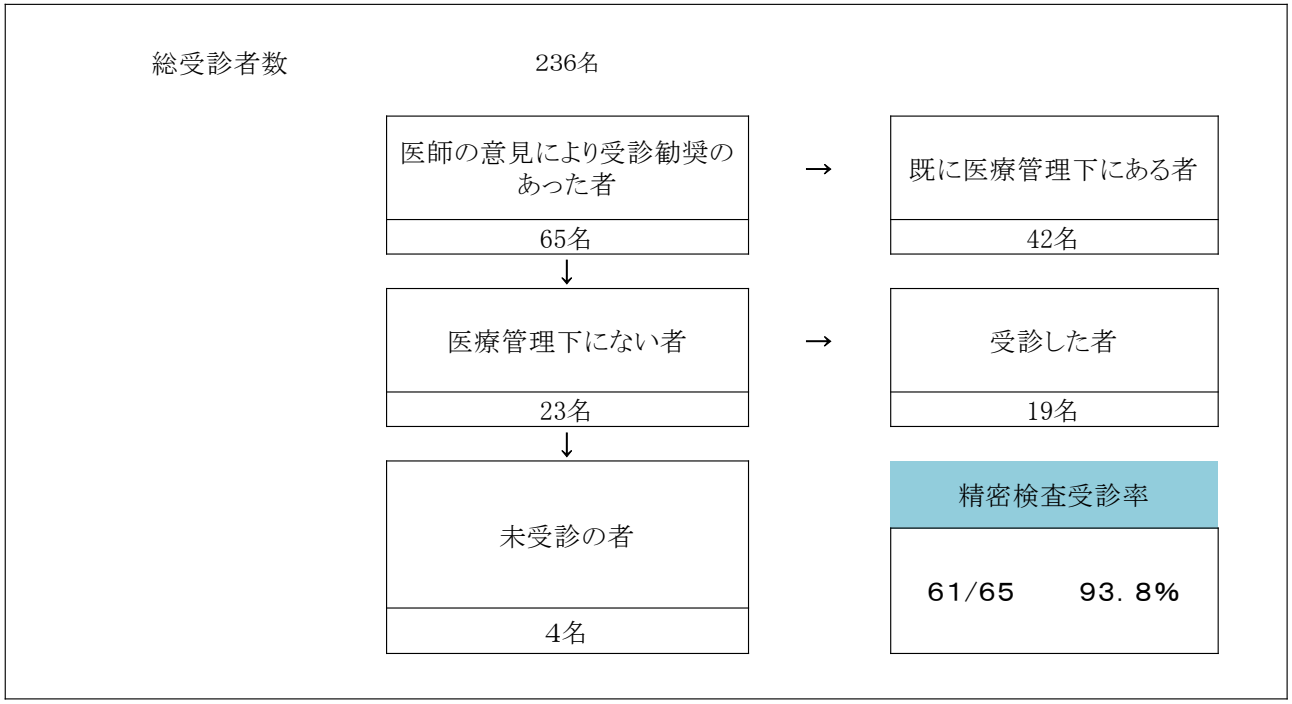
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
喫煙率	21.3%%	21.2%	20.2%	21.3%	20.3%
何らかの継続的運動習慣	40.4%	39.4%	42.7%	35.6%	43.0%%
1合/日以上の飲酒の習慣	36.1%	37.2%	34.5%	36.8%	42.0%
睡眠休養が十分とれている	67.2%	67.2%	66.2%	64.4%	64.0%
腰痛	20.2%	24.0%	23.5%	30.2%	27.0%
便秘	10.3%	13.0%	12.2%	9.4%9	9.4%
胃痛・胸やけ等	3.7%	11.1%	7.5%	10.5%	15.4%
ストレスが強い	13.1%	13.5%	15.6%	16.8%	18.3%

組織として早急な対策が必要がある
今後注視していく必要がある。対策が可能であれば講じていく
改善がみられる

定期健康診断後の措置　1.二次健康診断等給付及び医師による受診勧奨

総受診者:　237名
受診率:　　100%
二次健康診断給付対象者:0名

定期健康診断後の措置　医師の受診勧奨



医師による受診勧奨の対象となった人のうち、受診に至った人は93.8%でした。未受診者には今後も推奨していきます。

健定期健康診断後の措置　2.特定保健指導-経年的アプローチ

特定保健指導

積極的支援		動機付け支援	
対象者	4名	対象者	7名
支援推奨中	0名	支援推奨中	0名
治療開始等	0名	治療開始等	0名
支援終了	4名	支援終了	7名

2019年度より通算21名の対象者をフォローしてきました。全員保健指導を受け、通院に至った人4名、改善し対象外となった人2名となりました。今後も継続していきます。

		2019年	2020年	2021年	2022年
1		S	D	D	D
2		S	S	D:未実施(改善)	(通院服薬)
3		S	S	D	S
4		S:未実施	S:未実施	D	D
5		S:初回面談後服薬	(通院服薬)	(通院服薬)	(通院服薬)
6	退職	S:未実施			
7	退職	S	S	S:初回面談(退職)	
8		D:未実施	D:未実施	D:未実施	D
9		D	D	改善(対象外)	改善(対象外)
10		D	S	S	S
11		D	D	(通院服薬)	(通院服薬)
12	退職	D:未実施			
13			S	S	S
14			S:未実施	(通院服薬)	(通院服薬)
15			D	D	D
16			D:未実施	D	D
17				S:未実施(通院服薬)	(通院服薬)
18				S	改善(対象外)
19				D	D
20	退職			D:未実施	
21					S
22					D
		S:5　D:3	S:5　D:4	S:4　D:6	S:4　D:7

S:積極的　　D:動機付け

ストレスチェックの職場分析による健康リスク

ストレスチェックの職場分析による健康リスク

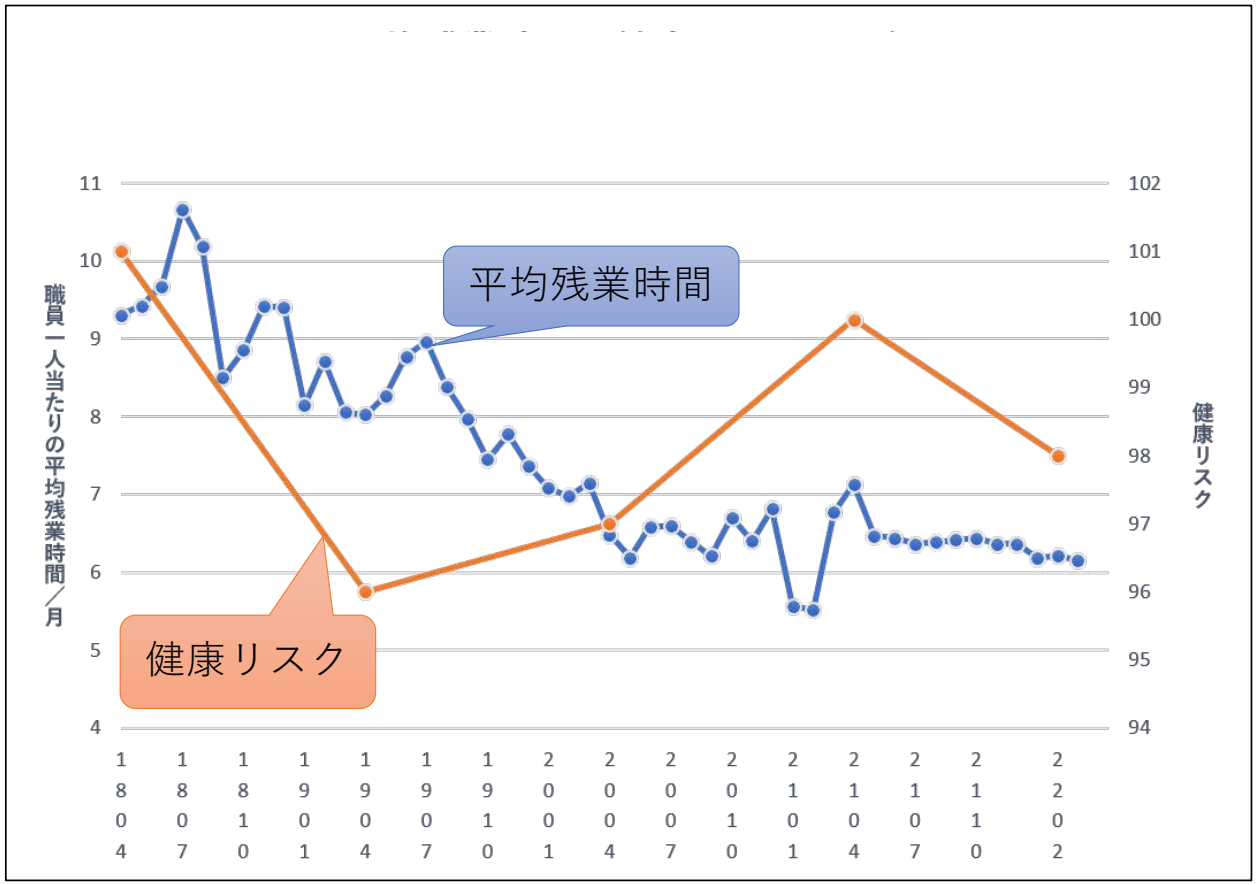
	仕事の負担	職場のサポート	総合	高ストレス者の比率
※全国平均	98	95	99	13.7%
※同業種平均	101	93	93	13.2%
2021年度	101	98	94	22.0%
2020年度	102	99	100	21.1%
2019年度	101	97	97	21.7%
2018年度	100	96	96	18.7%
2017年度	103	99	101	18.4%
2016年度	104	97	100	17.0%

※(公社)全国労働衛生団体連合会(2020年度)

高ストレス者の比率は上昇傾向にあり職員のパフォーマンス向上のためにも、減少させることが２０２２年度からの重点施策となりました。

その他の測定値、解析、新しい試みなど

平均残業時間（タイムレコーダーによる）と健康リスク



皆さん、業務が終了したら
少しでも早く退社しましょう。

「私は定時に帰ります」を実
行しましょう！

プロジェクトチームに感染管理看護師(ICN)が加わりました！

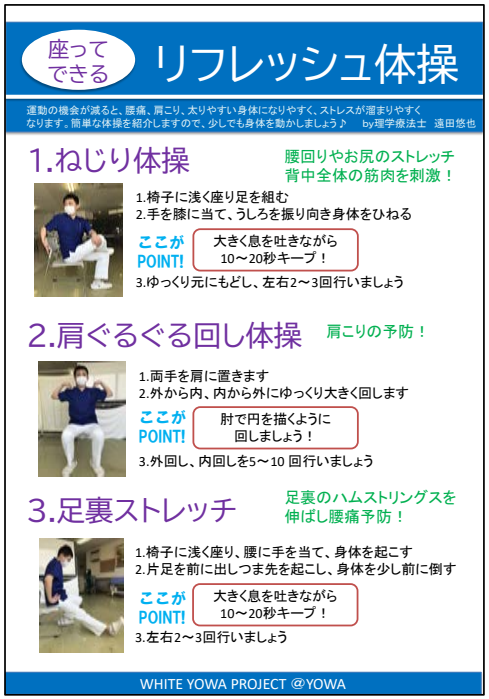
新型コロナ感染:
家庭内感染、換気＋熱中症、後遺症、PCR検査等の職員の疑問に感染管理看護師(ICN)が直接対応します。

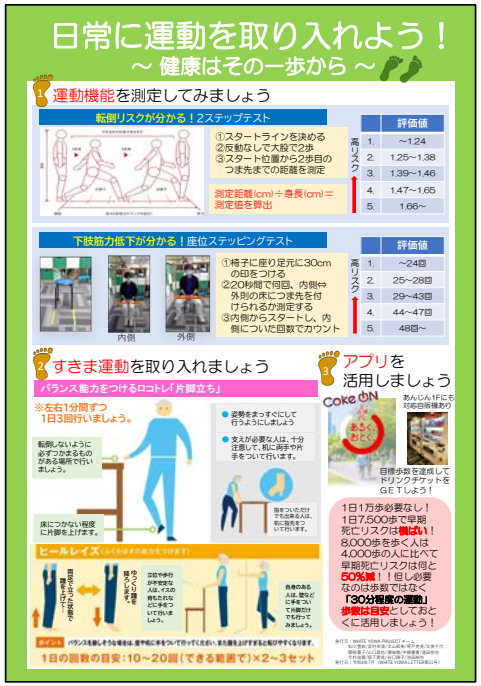
プロジェクトスタッフ		担当
産業医	労働衛生コンサルタント(保健) 人間ドック健診情報管理士	健康管理に係るアドバイス
産業医	精神科専門医	メンタルヘルスケア・禁煙・飲酒
産業医	精神科専門医	
他産業医3名		健康管理に係るアドバイス
保健師		
看護師		
看護師	感染管理看護師(ICN)	感染症対策相談窓口
管理栄養士	健康経営アドバイザー(東京商工会議所) 人間ドック健診情報管理士	保健指導・食事療法
管理栄養士		
理学療法士		Sport in Life・運動療法・腰痛予防対策
精神保健福祉士		メンタルヘルスケア・禁煙・飲酒
薬剤師		職員及びご家族のジェネリック薬品への理解向上
診療情報管理士		
介護福祉士		介護における腰痛予防対策
事務		協会けんぽ対応・統計

「Sport in Lifeコンソーシアム」加盟団体に加盟しましたました。今後は「エールカンパニー」を目指しています！

Sport in Life

理学療法士作成のメニューです。





女性にのための施策　1.婦人科検診

以前は子宮頚がん検診、乳がん検診は本人の申し出により定期健康診断に合わせて近隣の医療機関に依頼していましたが、希望者は皆無でした。個人で受検した人もいたと思いますがが把握し切れていませんでした。受診率を向上させるため利便性を考慮し、検診車を当法人が手配することにしました。下記のように2年間で子宮頚がん検診では3名が要精査,1名が治療に結びついた。乳がん検診では2名が要精査となりました。今後も対象となった人は進んで受診しましょう。

	2021年度					2022年度				
	対象者数	受診者数	受診率(%)	要精査	要治療	対象者数	受診者数	受診率(%)	要精査	要治療
乳がん検診	92	28	30.4	2	0	100	25	25.0	0	0
子宮頸がん検診	158	30	19.0	4	0	174	30	19.2	3	1

女性にのための施策　2.腸内フローラ検査(Mykinso)

最近腸活が話題となっています。腸内環境は便通だけでなく、免疫、睡眠、肌などに影響します。サプリの前に腸内環境を知ることが重要です。一部会社補助で検査希望者を募りました。結果は好評でした。2022年度も予定しています。

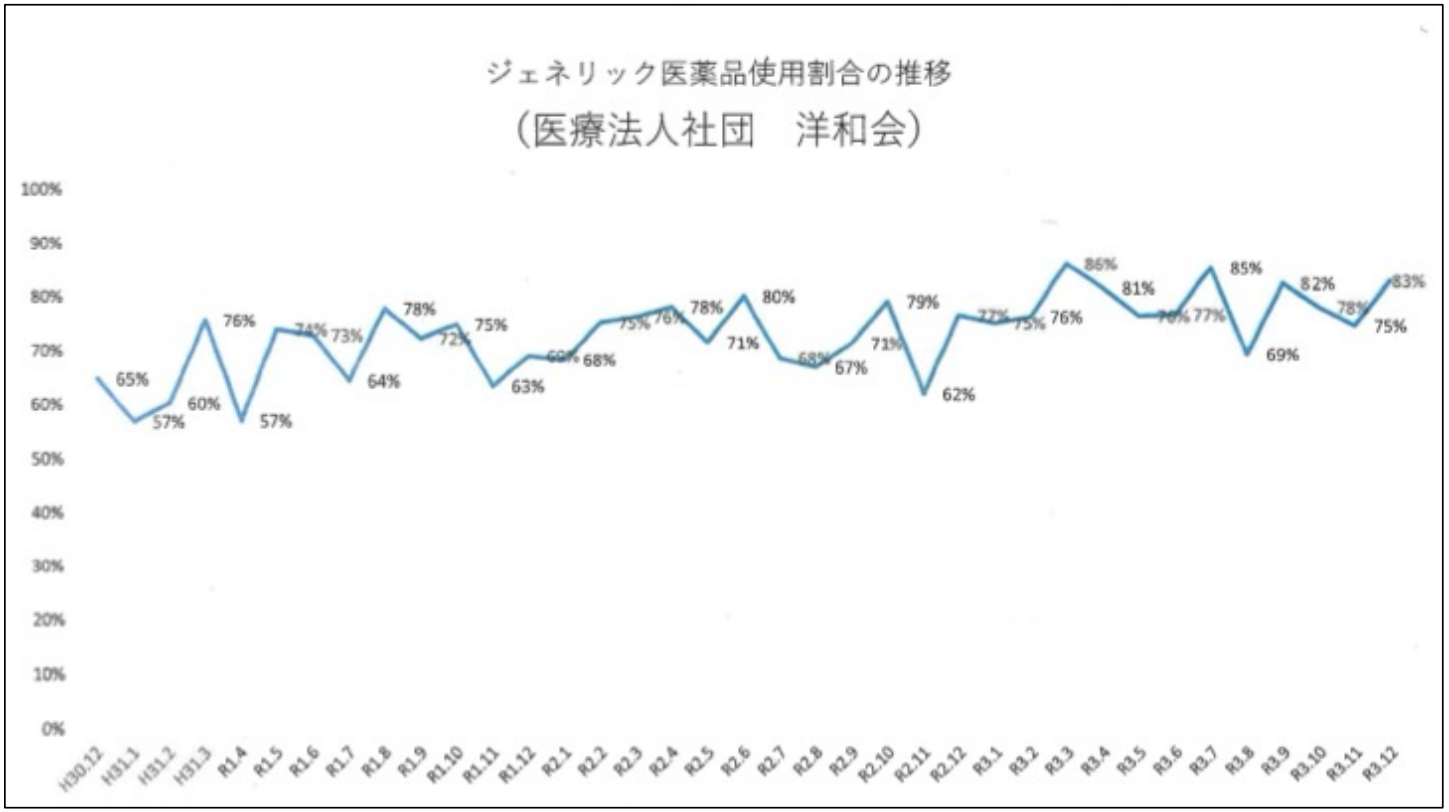
感想
・不足しているとの結果（エクオールが0%だった）だった栄養素をサプリメントで取り始めたら、調子が良くなったような気がしている。
・果物や海藻摂取が不足しているとの結果だったため、食事が偏らないようにその後気をつけるようにしている。
・自分に不足しているものが知れたので良かった。
・痩せ菌・デブ菌を知れたのが良かった。
・食べた方が良いもの（きのこ類）を知れたので意識して取り入れるようにしている。
・自分に足りないものが分かって改善のヒントになった。
・お腹の中の菌、食べるべき食材等の数値やコメントが書いてありとても分かりやすかった。
・これからも機会があれば受けたいと思った。
・とても参考になり、食事内容を意識するようになったので受けて良かった。
・自分の腸内の動き（少し糖尿）が分かり参考になった。
・ビフィズス菌が足りないということが知れて良かった。また受けたい。
・食べた方が良いもの（きのこ類、乳製品）の記載は分かりやすかったが、もう少し個別に詳しく書いてあると良かった。
・今後の対策等をもう少し詳しく書いてほしい。
・便秘改善を目的に検査を受けたが腸内細菌良いとの結果がでて原因が解決できなかった。
・自分に不足している菌を知り、改善のために納豆を食べるようになった。
・自分の腸の状態を知る事ができて良かった。糖尿病の方の腸の状態に似ているとの結果だったので、食事に気をつけようと思った。
・キノコ、納豆、ヨーグルトの摂取頻度を増やした。

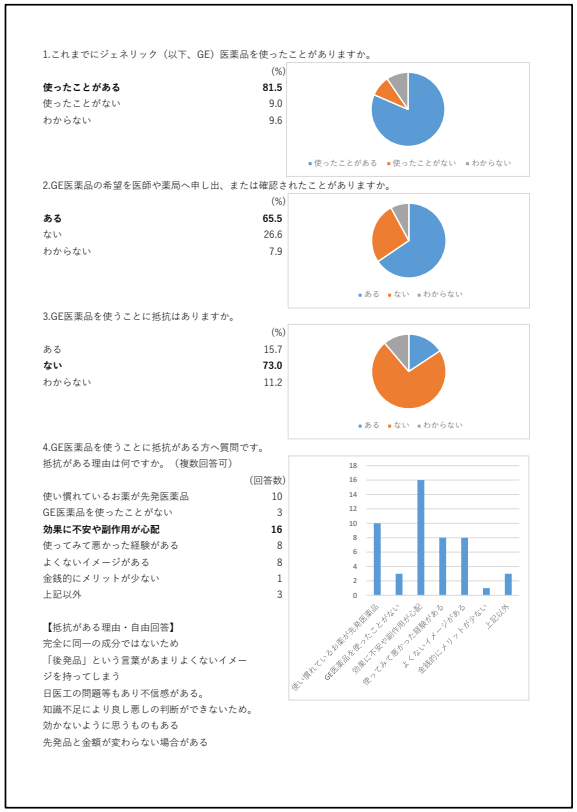
年齢	人数
30～34歳	2
35～39歳	5
40～44歳	2
45～49歳	4
50～54歳	2
55～59歳	1
60～64歳	0
65～69歳	1
合計	17

女性	16
男性	1
合計	17

ジェネリック医薬品の使用割合の推移

職員の医療費負担を軽減するため
ジェネリック薬品の使用率を上げる
活動（意識調査、健康教育、薬剤師
の指導）をしています。





1.これまでにジェネリック（以下、GE）医薬品を使ったことがありますか。

	(%)
使ったことがある	**81.5**
使ったことがない	9.0
わからない	9.6

2.GE医薬品の希望を医師や薬局へ申し出、または確認されたことがありますか。

	(%)
ある	**65.5**
ない	26.6
わからない	7.9

3.GE医薬品を使うことに抵抗はありますか。

	(%)
ある	15.7
ない	**73.0**
わからない	11.2

4.GE医薬品を使うことに抵抗がある方へ質問です。
抵抗がある理由は何ですか。（複数回答可）

	(回答数)
使い慣れているお薬が先発医薬品	10
GE医薬品を使ったことがない	3
効果に不安や副作用が心配	**16**
使ってみて悪かった経験がある	8
よくないイメージがある	8
金銭的にメリットが少ない	1
上記以外	3

【抵抗がある理由・自由回答】
完全に同一の成分ではないため
「後発品」という言葉があまりよくないイメージを持ってしまう
日医工の問題等もあり不信感がある。
知識不足により良し悪しの判断ができないため。
効かないように思うものもある
先発品と金額が変わらない場合がある

協会けんぽ　石川県支部　提供

健康経営目的達成の検証と今後の活動について

健康経営目的達成の検証

	アブセンティーズム	プレセンティーズム	ワークエンゲージメント
	傷病による欠勤（日/人）	100-SPQ（東大1項目版）	UWES（超短縮版）
2021年度	2.9	21.4	3.1
2020年度	5.1	20.9	3.1

傷病による欠勤は減少しましたがプレセンティーズム、ワークエンゲージメントは変化は見られませんでした。

ストレスチェックより仕事の満足度関連項目

	活気				元気				生き生き			
	２０２１年度	割合	２０２０年度	割合	２０２１年度	割合	２０２０年度	割合	２０２１年度	割合	２０２０年度	割合
ほとんどなかった	48	19.9	49	21.3	47	19.5	45	19.6	58	24.1	63	27.4
ときどきあった	123	51.0	101	43.9	107	44.4	102	44.3	107	44.4	93	40.4
しばしばあった	56	23.2	68	29.6	71	29.5	66	28.7	64	26.6	65	28.3
ほとんどいつもあった	13	5.4	12	5.2	15	6.2	17	7.4	10	4.1	9	3.9
回答無し	1	0.4	0	0.0	1	0.4	0	0.0	2	0.8	0	0.0
合計	241	100	230	100	241	100	230	100	241	100	230	100

	仕事の満足度			
	２０２１年度	割合	２０２０年度	割合
満足	27	11.2	23	10.0
まあ満足	135	56.0	108	47.0
やや不満足	57	23.7	81	35.2
不満足	20	8.3	17	7.4
回答無し	2	0.8	1	0.4
合計	241	100	230	100

	働きがいのある仕事			
	２０２１年度	割合	２０２０年度	割合
そうだ	47	19.5	45	19.6
まあそうだ	135	56.0	130	56.5
ややちがう	42	17.4	41	17.8
ちがう	13	5.4	14	6.1
回答無し	4	1.7	0	0.0
合計	241	100	230	100

重点施策の中止、継続について

	項目	値	目標値	対策				
				重要度	実現可能性	実施	優先度	
中止	貧血有所見率	開始時	2022年度	高	中	する		目標値は達成できなかったが5.5%減少した。
		17.7%	までに	貧血に特化した健康教育を実施、社内自販機に鉄分を多く含むドリンクを置くなど実施してきた。着実に改善している。今後も施策を充実させていく。				
		現在	10%未満					
		12.2%						
中止	血糖有所見率	開始時	2022年度	高	高	する		目標値は達成できなかったが4.5%減少した。
		14.6%	までに	将来の疾病に繋がらないよう対策が必要。2次検査、保健指導受診と糖尿病合併症のリテラシーを高めていく。				
		現在	10%未満					
		10.1%						
継続	喫煙率	開始時	2022年度	高	低	する		目標値は達成できなかった。
		21.4%	までに	今期は禁煙に成功0であった。今後は禁煙サポートプログラム、アプリの提唱、、成功者のインセンティブも検討していく。				
		現在	10%未満					
		20.3%						
継続	腰痛	開始時	2022年度	中	低	する		目標値は達成できなかった。
		24.0%	までに	若干の改善がみられたが、施策は継続。朝礼時のラジオ体操、スキマ時間のストレッチ、腰痛体操（松下　浩）二加え、歩こう会＠YOWAで、コロナ禍の中、歩くことを進める。				
		現在	20%未満					
		27.7%						
中止	後発医薬品の使用割合	開始時	2022年度	中	高	する		目標値は達成できたが今後もモニタリングは継続
		66.8%	までに	目的達成！今後はモニタリングを継続していく。				
		現在	70%					
		81.3%						
継続	特定健診受診率（被扶養者）	開始時	2022年度	中	高	する		目標値は達成できたが今後も施策は継続
		16.7%	までに	職員を通して家人に受診推奨してもらう				
		現在	80%					
		40%						
継続	高ストレス者（ストレスチェック）	開始時	2022年度	高	中	する		目標値は達成できたが今後も施策は継続
		18.7%	までに	3年間で17.0%から21.7%へ上昇している。自覚症も「ストレスが強い」と感じている人が微増。4つのケアが機能しているかチェックが必要。今後は相談数を増やしていく。				
		現在	10%未満					
		22.0%						
中止	胃痛・胸やけ等	開始時	2021年	高	中	する		目標値は達成できなかった。
		11.1%	までに	消化器症状全般の改善が必要で、内外講師による「腸活」講習の実施、食物繊維の豊富なお茶を安価で提供、社内自販機に乳酸菌飲料、食物繊維の豊富なもの設置の施策は継続。「腸内フローラ」検査も推奨。				
		現在	10%未満					
		11.5%						

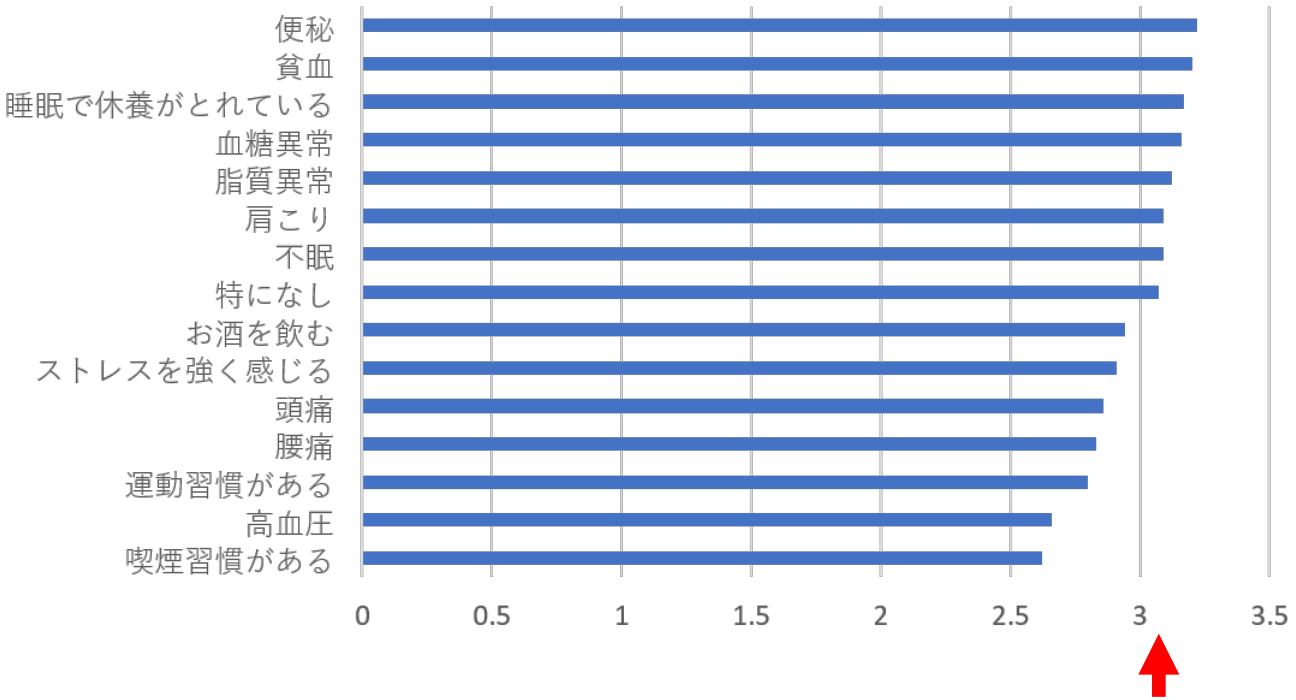
喫煙、腰痛、高ストレス者、被扶養者特定健診受診率対策は継続します。

※前年度のレポートで特定健診受診率（被扶養者）の受診率に誤りがあり訂正しました

健康経営の今後の活動について

健診結果・自覚症・生活習慣とワークエンゲージメントとの関連性

ワークエンゲージメント：UWES（超短縮版）

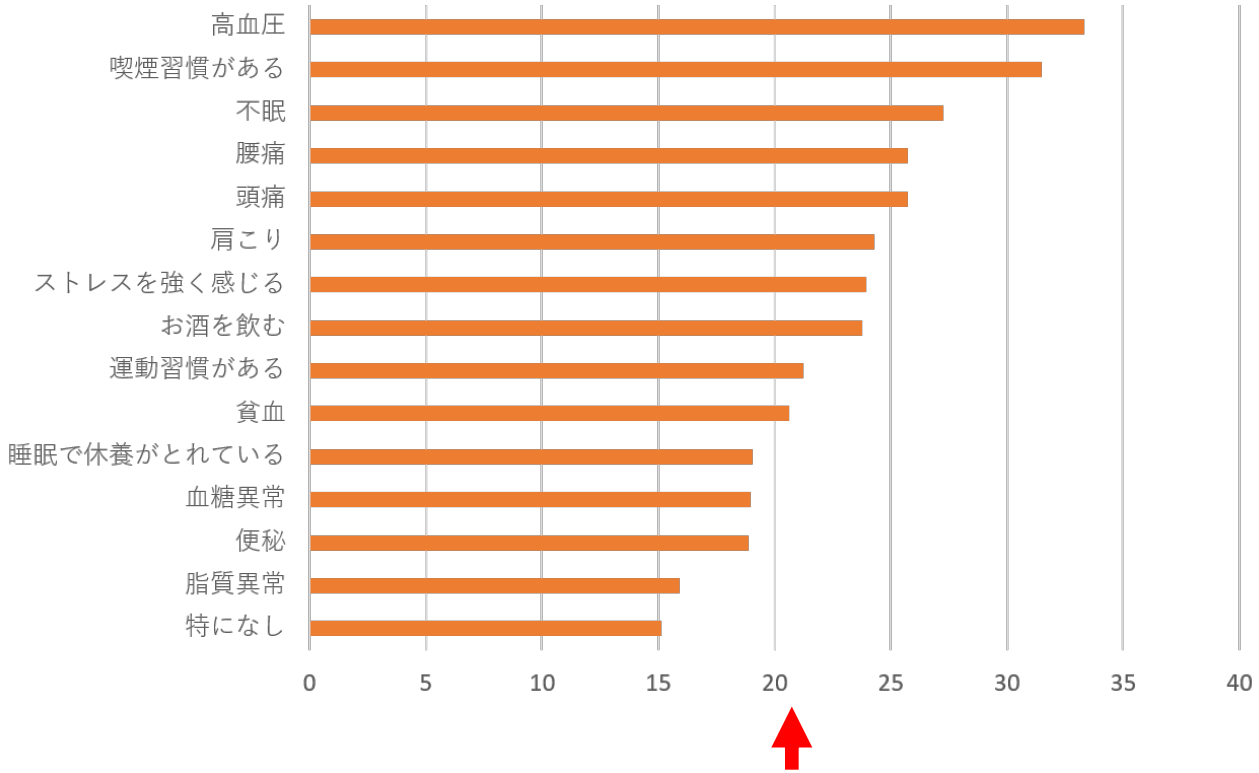


当法人平均　３．１

喫煙、高血圧、運動習慣（？）、腰痛、頭痛、、ストレスがワークエンゲージメントを低下させているようです。

健診結果・自覚症・生活習慣とプレゼンティーズムとの関連性

プレゼンティーズム：100-SPQ（東大1項目版）

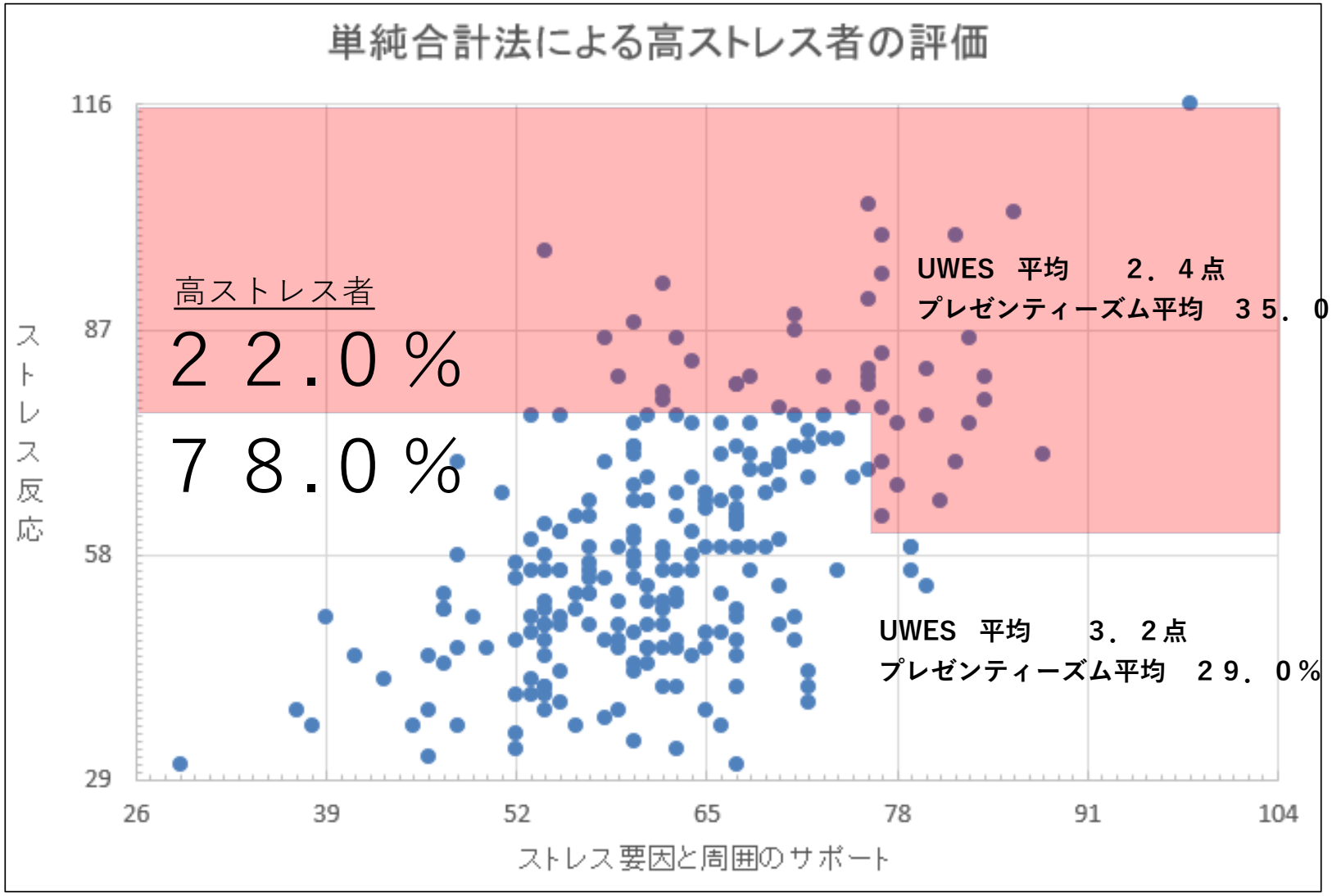


当法人平均　２１.４％

高血圧、喫煙、不眠、腰痛、頭痛、ストレスがプレゼンティーズムを悪くしているようです。

高ストレスとワークエンゲージメント、プレゼンティーズムの関連性

２０２２年２月実施



2022年度からの重点施策について

	項目	測定値	目標値	対策				結果
				重要度	実現可能性	実施	優先度	
新規	血圧有所見率	2021年	2025年度	高	中	する	2	
		14.7%	までに	将来の疾病に繋がらないよう対策が必要。2次検査、保健指導の徹底と高血圧症の合併症のリテラシーを高めていく。				
		現在	10%未満					
		14.7%						
継続	喫煙率	2021年	2025年度	高	中	する	1	
		20.3%	までに	1.衛生教育を何度も行う、2.禁煙外来受診を強く勧奨する。(禁煙支援アプリも含む)、3.依存性の強い時は産業医等がカウンセリングなどから進める。				
		現在	10%未満					
		20.3%						
継続	腰痛	2021年	2025年度	高	低	する	3	
		27.0%	までに	1.介護職の衛生教育　2.スキマ時間を利用したストレッチや腰痛体操　3.4Sの徹底　4.受診勧奨				
		現在	10%未満					
		27.0%						
継続	高ストレス者率	2021年	2025年度	中	低	する	4	
		22.0%	までに	若干の改善がみられたが、施策は継続。朝礼時のラジオ体操、スキマ時間のストレッチ、腰痛体操(松下　浩)二加え、歩こう会@YOWAで、コロナ禍の中、歩くことを進める。				
		現在	10%未満					
		22.0%						
継続	特定健診受診率(被扶養者)	2021年	2022年度	中	高	する	6	
		40%	までに	職員を通して家人に受診推奨してもらう				
		現在	80%					
		40%						
新規	不眠	2021年	2025年度	中	高	する	5	
		11.9%	までに	1.パワーナップの促進　2.睡眠障害に関する衛生教育　3.睡眠外来受診勧奨				
		現在	5%					
		11.9%						

プレゼンティーズムを悪くしたり、ワークエンゲージメントを低下させると考えられる要因を中心に重点施策を講ずることにしました。優先度も考慮して進めましょう。

その要因

1.喫煙

2.高血圧リスク

3.腰痛

4.高ストレス

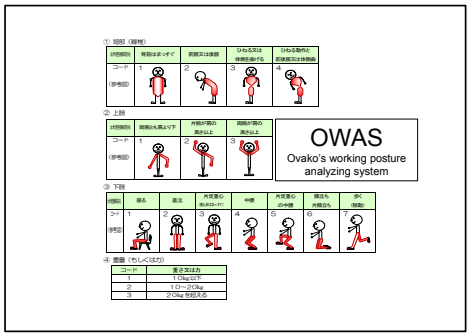
5.不眠

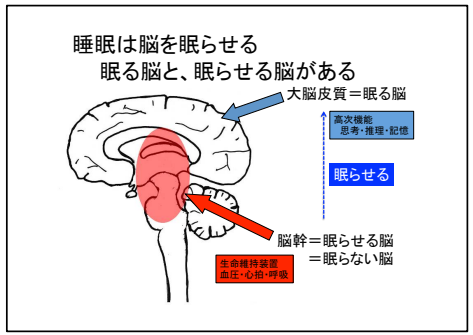
スキマナーを始めます！

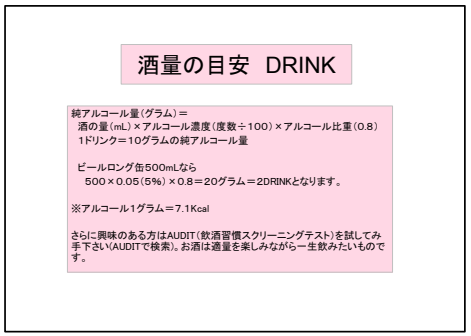
ミーティングや会議の後などスキマ時間を利用した５分程度のセミナー

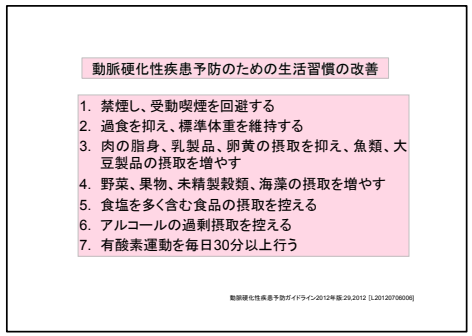
当法人が作製した教材をもとに労働衛生や健康経営をテーマに上長がお話しします。

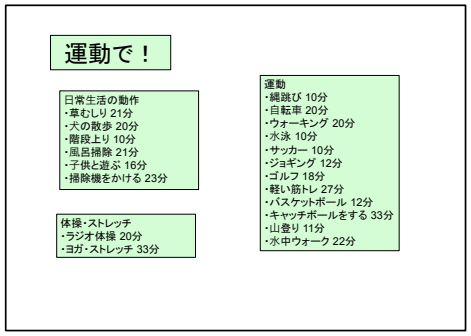
教材の一部

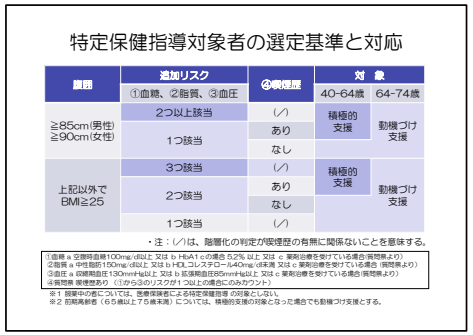


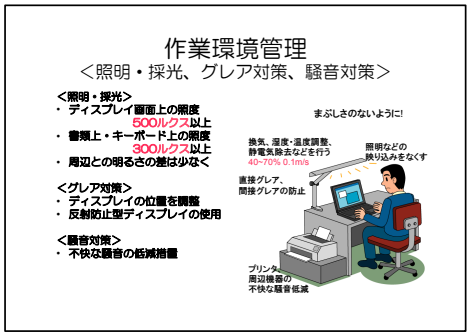


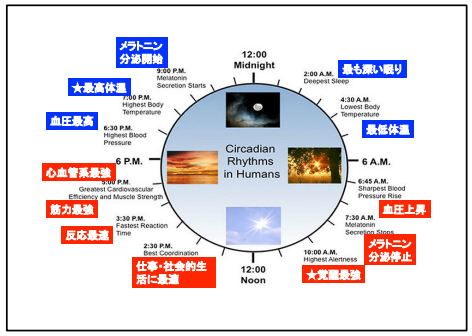












健康プロジェクト年間計画表2023

	2022年度						2023年度					
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	・日経リサーチアンケート提出　・年次レポート公開	インフルエンザワクチン接種			定期健康断・ストレスチェック・ワークエンゲージメントなどのアンケート調査	特定保健指導開始	定期健康断・ストレスチェックの結果集計					・健康経営戦略マップの見直し ・年間計画の作成
経営会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プロジェクトミーティング	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
入社時教育							○					
上長教育				○	○							
スキマナー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
WHITE YOWA発行			○						○			
重点項目月間			喫煙		高血圧リスク		腰痛対策		高ストレス		不眠	

2022年10月作成

医療法人洋和会　未病医学センター
センター長　池田　裕也

〒921-8824　石川県野々市市新庄2-10
TEL(076)248-8800
FAX(076)248-8815
URL　https://yowakai.jp
E-mail hiroya-ikeda@yowakai.jp